

令和4年度事業報告書

1 基本財産の造成状況

(単位：円)

| 区 分 | | 金 額 (円) |
|-----|--------------|------------|
| 行政 | 岩 手 県 | 10,000,000 |
| | 市 町 村 | 10,000,000 |
| | 小 計 | 20,000,000 |
| 民間 | 学校法人岩手医科大学 | 5,000,000 |
| | 一般社団法人岩手県医師会 | 5,000,000 |
| | 小 計 | 10,000,000 |
| 合 計 | | 30,000,000 |

2 基本財産の運用状況

(単位：円)

| 運用先 | 種 別 | 当期末残高 | 基本財産 運用収入 | 運用実績 (年利換算) |
|----------------------|--------------------------|------------|--------------|----------------|
| 三菱UFJモルガン スタンレー証券 | 利付国債(20年) (2032/6/20) | 19,879,067 | 333,073 | 1.67% |
| みずほ証券 | 利付国債(20年) (2040/6/20) | 9,892,588 | 46,138 | 0.46% |
| 岩手銀行雫石支店 | 預金 | 228,345 | 0 | 0.00% |
| 合 計 | | 30,000,000 | 379,211 | 1.26% |

3 庶務事項

(1) 役員の構成

(令和5年3月31日現在)

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-------|---------|---------------------------|
| 理 事 長 | 大 井 清 文 | |
| 副理事長 | 小 川 彰 | 学校法人岩手医科大学理事長 |
| ” | 本 間 博 | 一般社団法人岩手県医師会長 |
| 専務理事 | 今 野 秀 一 | いわてリハビリテーションセンター副センター長(事) |
| 理 事 | 小 原 勝 | 岩手県医療局長 |
| ” | 佐 藤 義 朝 | いわてリハビリテーションセンター長 |
| ” | 高 橋 昌 造 | 岩手県町村会代表(矢巾町長) |
| ” | 武 田 哲 | 岩手県市長会代表(滝沢市長) |
| ” | 野 原 勝 | 岩手県保健福祉部長 |
| 監 事 | 佐々木 政徳 | 公認会計士 |
| ” | 古 舘 和 好 | 岩手県市長会事務局次長 |

(2) 事務局の構成

(令和5年3月31日現在)

| 役職 | 氏名 | 備考 |
|-------|--------|------------------|
| 事務局長 | 伊勢 貴 | 業務推進部長 |
| 事務局次長 | 鈴木 光将 | 業務推進部副部長(総務担当) |
| 書記 | 鎌田 隆一 | 業務推進部副部長(医事担当) |
| 〃 | 高橋 広 | 業務推進部副部長(予算経理担当) |
| 〃 | 村上 正晃 | 業務推進課長(企画担当) |
| 〃 | 佐野峯 卓哉 | 主事 |

(3) 理事会の開催

ア 第19回理事会

日時 令和4年6月1日(水) 14時00分から

場所 ホテルニューカーリーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和3年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和4年度県出資等法人運営評価について

議案第3号 令和4年度定時評議員会の招集について

イ 第20回理事会

日時 令和5年3月2日(木) 14時00分から

場所 ホテルニューカーリーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和4年度収支補正予算案について

議案第2号 令和5年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書案について

議案第4号 令和4年度臨時評議員会の招集について

(4) 評議員会の開催

ア 第19回評議員会

日時 令和4年6月20日(水) 14時00分から

場所 ホテルニューカーリーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和3年度事業報告及び収支決算案について

議案第2号 令和4年度県出資等法人運営評価について

議案第3号 理事の選任について

議案第4号 監事の選任について

議案第5号 評議員の選任について

イ 第20回評議員会

日時 令和5年3月15日(水) 14時00分から

場所 ホテルニューカーリーナ 2階「アイリス」

議事 議案第1号 令和4年度収支補正予算案について

議案第2号 令和5年度事業計画案及び収支予算案について

議案第3号 県出資等法人に係る中期経営計画書案について

議案第4号 理事の選任について

議案第5号 評議員の選任について

4 事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

ア 1日平均入院患者数

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|--------|-------|-------|------|
| 患者数(人) | 84.5 | 85.6 | △1.1 |

イ 患者数の状況 (単位:人)

| 令和3年度末 入院患者数 | 令和4年度 入院患者数 | 令和4年度 退院患者数 | 令和4年度末 入院患者数 |
|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 91 | 429 | 437 | 83 |

<参考>

| 令和2年度末 入院患者数 | 令和3年度 入院患者数 | 令和3年度 退院患者数 | 令和3年度末 入院患者数 |
|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 82 | 451 | 442 | 91 |

ウ 平均在院日数

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|---------|-------|-------|-----|
| 在院日数(日) | 70.2 | 69.0 | 1.2 |

エ 退院先

| 令和4年度 | 自宅 | 病院 | その他 | 合計 |
|----------|------|------|-----|-----|
| 退院患者数(人) | 342 | 57 | 38 | 437 |
| 構成割合(%) | 78.3 | 13.0 | 8.7 | 100 |

<参考>

| 令和3年度 | 自宅 | 病院 | その他 | 合計 |
|----------|------|------|-----|-----|
| 退院患者数(人) | 338 | 65 | 39 | 442 |
| 構成割合(%) | 76.5 | 14.7 | 8.8 | 100 |

オ 入院患者の疾患別内訳

| 令和4年度 | 脳血管 障害 | 神経系 疾患 | 外傷性 疾患 | 骨関節 疾患 | その他 | 合計 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-----|
| 患者数(人) | 281 | 37 | 58 | 43 | 10 | 429 |
| 構成割合(%) | 65.6 | 8.6 | 13.5 | 10.0 | 2.3 | 100 |

<参考>

| 令和3年度 | 脳血管 障害 | 神経系 疾患 | 外傷性 疾患 | 骨関節 疾患 | その他 | 合計 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-----|
| 患者数(人) | 296 | 41 | 65 | 35 | 14 | 451 |
| 構成割合(%) | 65.6 | 9.1 | 14.4 | 7.8 | 3.1 | 100 |

カ 主な保健医療圏別患者数 ※前掲(1)Aイの入院患者数の内訳

| 令和4年度 | 盛岡 | 岩手 中部 | 宮古 | 二戸 | 気仙 | 釜石 | 胆江 | その 他 | 合計 |
|---------|------|----------|-----|-----|-----|------|------|---------|-----|
| 患者数(人) | 194 | 40 | 25 | 19 | 28 | 46 | 44 | 33 | 429 |
| 構成割合(%) | 45.3 | 9.3 | 5.8 | 4.4 | 6.5 | 10.7 | 10.3 | 7.7 | 100 |

※その他の内訳:久慈12人、両磐12人、県外9人

<参考>

| 令和3年度 | 盛岡 | 岩手 中部 | 宮古 | 二戸 | 気仙 | 釜石 | 胆江 | その 他 | 合計 |
|---------|------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-----|
| 患者数(人) | 183 | 73 | 36 | 22 | 37 | 30 | 43 | 27 | 451 |
| 構成割合(%) | 40.6 | 16.2 | 8.0 | 4.9 | 8.2 | 6.7 | 9.5 | 5.9 | 100 |

※その他の内訳:久慈12人、両磐8人、県外7人

キ 平均年齢 (単位：歳)

| 令和4年度 | 男性 | 女性 | 合計 |
|----------|------|------|------|
| 入院患者平均年齢 | 64.7 | 66.3 | 65.3 |

<参考> (単位：歳)

| 令和3年度 | 男性 | 女性 | 合計 |
|----------|------|------|------|
| 入院患者平均年齢 | 62.5 | 66.2 | 64.0 |

B 外来患者の状況

| 令和4年度 | 常設診療科 | 非常設診療科 | | | | | | | 計 |
|--------|-------|--------|-------|-----|-----|-------|---------|-----|-------|
| | | 泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 眼科 | 歯科 | 循環器内科 | 糖尿病代謝内科 | 精神科 | |
| 患者数(人) | 3,178 | 339 | 47 | 125 | 609 | 97 | 454 | | 1,731 |

<参考>

| 令和3年度 | 常設診療科 | 非常設診療科 | | | | | | | 計 |
|--------|-------|--------|-------|-----|-----|-------|---------|-----|-------|
| | | 泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 眼科 | 歯科 | 循環器内科 | 糖尿病代謝内科 | 精神科 | |
| 患者数(人) | 3,549 | 317 | 41 | 105 | 657 | 158 | 506 | | 1,784 |

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

| 区分 | | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 備考 |
|----|---------|--------|--------|------|----|
| 入院 | 延患者数 | 30,851 | 31,259 | △408 | |
| | 1日平均患者数 | 84.5 | 85.6 | △1.1 | |
| 外来 | 延患者数 | 3,178 | 3,549 | △371 | |
| | 1日平均患者数 | 13.1 | 14.7 | △1.6 | |

イ 非常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

| 区分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 備考 |
|---------|-------|-------|-----|-----|
| 泌尿器科 | 339 | 317 | 22 | |
| 耳鼻咽喉科 | 47 | 41 | 6 | |
| 眼科 | 125 | 105 | 20 | |
| 歯科 | 609 | 657 | △48 | |
| 循環器内科 | 97 | 158 | △61 | |
| 糖尿病代謝内科 | 454 | 506 | △52 | |
| 精神科 | 0 | 0 | 0 | 休診中 |

D 訪問事業の状況

| 令和4年度 | 訪問リハビリ | 訪問看護 |
|----------|--------|------|
| 実利用者数(人) | 47 | 5 |
| 延訪問回数(回) | 2,304 | 259 |

<参考>

| 令和3年度 | 訪問リハビリ | 訪問看護 |
|----------|--------|------|
| 実利用者数(人) | 42 | 5 |
| 延訪問回数(回) | 2,163 | 247 |

E 通所事業の状況

| 令和4年度 | 通所リハビリ |
|----------|--------|
| 実利用者数(人) | 23 |
| 延利用回数(回) | 890 |

<参考>

| 令和3年度 | 通所リハビリ |
|----------|--------|
| 実利用者数(人) | 23 |
| 延利用回数(回) | 888 |

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

| | |
|-------|------|
| 令和4年度 | 172件 |
| 令和3年度 | 154件 |

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

- ① 栗石町地域包括ケア・多職種連携会議、自立支援サポート会議等への出席
派遣回数4回、派遣職員数延11人
- ② 市町村主催の「シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業」講師等派遣
派遣回数15回、派遣職員数延25人、被指導者数延32人
- ③ 市町村主催講演会の講師派遣
派遣回数1回、派遣職員1人、受講者数72人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数4回、派遣職員数延32人、被指導者数延56人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年4回、関係機関に送付及びホームページに掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回開催（WEB）
- ・広域支援センター圏域連絡協議会への出席、研修会への講師派遣等
7圏域、9回（うちWEB7回）、従事職員数延15人

E 保健福祉等高齢者施設職員等研修会

- ・呼吸リハビリテーション研修会（WEB開催） 開催回数1回、受講者数46人
- ・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延32人

F 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及びサービスを提供

- ・相談支援コーディネーター3名及び地域支援コーディネーター3名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。
相談件数延べ1,112件、実人数116名
- ・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
2回開催、出席者数延べ46名
- ・具体的な支援手法の検討を行うための圏域相談支援コーディネーター会議の開催
1回開催、出席者数延べ17名
- ・支援の普及に向けた研修会の開催
4回開催、参加者数延べ134名
- ・地域における支援体制整備のための支援
県内8圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。
- ・事業周知のためのPR・広報活動の実施
「高次脳機能障害カルタ読上げ動画」及び「自主トレプログラム動画」の配信並びに「ホームページ」や「メールニュース」を通じて、高次脳機能障害への理解と支援の拡大を図った。

G シルバーリハビリ体操指導者養成事業

15市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・ 3級指導者養成講習会（5日間）
開催回数2回、従事職員数延43人、養成数26人
- ・ 2級指導者養成講習会（4日間）
開催回数2回、従事職員数延40人、養成数25人
- ・ 1級指導者養成講習会（4日間）及び実習（5日間）等
開催回数1回、従事職員数延38人、養成数9人
- ・ フォローアップ研修会（WEBと会場のハイブリット開催）
開催回数1回、従事職員数6人、参加者数214人
- ・ 指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会（WEB開催）
開催回数1回、従事職員数9人、参加者数189人

H 補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）

- ・ 巡回相談

| 担当医師名 | 相談回数 | 補装具相談件数（非該当を除く） | | | | | | | 計 |
|-------|------|-----------------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|
| | | 義手 | 義足 | 装具 | 車椅子 | 座位保持装置 | 歩行器 | その他 | |
| 大井清文 | 6回 | 0件 | 18件 | 50件 | 23件 | 0件 | 0件 | 0件 | 91件 |

- ・ 来所相談

| 担当医師名 | 相談回数 | 補装具相談件数（非該当を除く） | | | | | | | 計 |
|-------|------|-----------------|-----|-----|-----|--------|-----|-----|------|
| | | 義手 | 義足 | 装具 | 車椅子 | 座位保持装置 | 歩行器 | その他 | |
| 佐藤義朝 | 6回 | 1件 | 54件 | 15件 | 19件 | 0件 | 0件 | 0件 | 89件 |
| 阿部深雪 | 6回 | 2件 | 40件 | 19件 | 25件 | 0件 | 1件 | 0件 | 87件 |
| 計 | 12回 | 3件 | 94件 | 34件 | 44件 | 0件 | 1件 | 0件 | 176件 |

- ・ 書面審査（身障手帳・補装具）

佐藤義朝 12回、48件 阿部深雪 10回、33件 計 22回、81件

(3) 教育研修事業

A 患者家族教室

栄養教室 開催回数11回、参加者数延75人

（新型コロナウイルス感染症の病棟閉鎖のため1回開催中止）

B 学生受け入れ

延18校、実106人(延663人)

| 職 種 | 受入校 | 実人数 |
|---------|-----|-----|
| 医師 | 1校 | 57人 |
| 看護師 | 2校 | 29人 |
| 理学療法士 | 7校 | 8人 |
| 作業療法士 | 5校 | 7人 |
| 言語聴覚士 | 1校 | 1人 |
| 臨床心理士 | 1校 | 3人 |
| 医療社会事業士 | 1校 | 1人 |

C リハビリテーションセンター体験学習
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

D 講師派遣
学生講義、施設職員対象研修等 58回、受講者数延2,524人

E 院内職員研修会
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実技講習は人数を分散して開催し、研修は主にスライドや動画等を個人で視聴する形式で行った。
開催回数16回、参加者数延1,459人

| 時期 | 研修内容 | 受講方法 | 受講人数 |
|----------------|---|--------------|------|
| R4.6 ～7 | 医療安全① AED 実技講習 「一次救命処置(BLS)について」 | 実技講習 (5回) | 138名 |
| R4.7 | 「令和4年度診療報酬改定」 | 個人閲覧 | 112名 |
| R4.7 ～8 | 「15分でわかるはじめての交流分析1」 | 個人閲覧 | 122名 |
| R4.9 ～10 | 医療安全②「個人情報の適切な取り扱い」 | 個人閲覧 | 147名 |
| R4.10 ～11 | 接遇研修「ゼロから学ぶ医療現場の接遇・トラブル対応」 | 個人視聴 | 163名 |
| R4.11 ～12 | 院内感染①「医療機関の感染対策チームの視点からみた施設内における問題点と改善策～モデルケースを用いた事例の紹介～」 | 個人視聴 | 120名 |
| R4.12 | 院内感染②「PPE 着脱動画」 | 個人視聴 | 133名 |
| R4.12 ～R5.1 | 「非褥瘡三原則～つぐらない！見逃さない！悪化させない！～」 | 個人視聴 | 133名 |
| R5.1 ～2 | 「(要約版)人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」 | 個人視聴 | 141名 |
| R5.2 | 医療安全③ 「医療ガスの知識」 | 個人視聴 | 114名 |
| R5.2 ～3 | 「医療用薬品の供給不足の話題と当センターの取り組み」 | 個人視聴 | 135名 |
| R5.3 | 医療安全④「転倒転落について(令和3年度転倒転落報告書より)」「インシデント・アクシデント集計報告(R3年度)」及び「危険予知トレーニング(KYT)」 | 個人閲覧 | 136名 |

F 普及啓発

いわてリハビリテーションフォーラム 2022

日時：令和4年10月1日（土）13：00～16：00

一般県民一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発

メインテーマ：高齢者・障がい者の自動車運転を考える

～住み慣れた地域での社会参加を目指して～

基調講演：近未来社会における人と車の共生

講師 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学講座 教授 三村 将 先生

会場（アイーナ）とオンラインのハイブリット開催。

開催回数1回、参加者 会場50人・Web156人 合計 206人、従事職員20人

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 令和4年度研究発表業績

ア 診療部

《医局》

1. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による令和2年度までの6年間の活動の拡がり
と問題について

○大井清文、佐藤義朝、阿部深雪、森潔史、遠藤英彦、熊谷瑠里子

第59回日本リハビリテーション医学会学術集会 神奈川県 2022年6月23日

2. 回復期リハビリテーション病棟における Guillain Barre 症候群の回復過程の特徴

○佐藤義朝、阿部深雪、森潔史、遠藤英彦、熊谷瑠里子、大井清文

岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 西村行秀、西山一成

第59回日本リハビリテーション医学会学術集会 神奈川県 2022年6月24日

3. 食器用チルトテーブルの使用による摂食動作改善効果（第2報）

○佐藤義朝、高橋静恵（栄養管理科）、小野沢美佳（看護部）、阿部栞（作業療法科）

大井清文（診療部）

第28回摂食嚥下リハビリテーション学会 千葉県（WEB） 2022年8月24日

4. 回復期病棟で実施した嚥下内視鏡検査による片側咽頭麻痺所見を契機に延髄外側梗塞の診断に至った多発外傷の一例

○佐藤義朝、森潔史、熊谷瑠里子、遠藤英彦、阿部深雪、大井清文

岩手医科大学医学部リハビリテーション医学講座 西村行秀、西山一成

第53回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県（WEB） 2023年3月4日

《臨床検査科》

5. 新型コロナウイルスの院内感染における臨床検査技師の役割

○川村将史、大井清文（診療部）

回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会 in 岡山 2023年2月25日（土）

イ 機能回復療法部

《理学療法科》

6. 臥床期間が長期化し全介助となった急性脳炎の自立歩行を獲得した一症例

○北田佳奈、中村一葉、佐藤英雄、森潔史（診療部）

第23回岩手県理学療法学術大会 岩手県（WEB） 2022年6月11日

7. 当センターにおけるギラン・バレー症候群の臨床的特徴と予後についての調査

○江口舞人、佐藤英雄、佐藤義朝（診療部）

第23回岩手県理学療法学術大会 岩手県（WEB） 2022年6月11日

8. 脳卒中片麻痺患者における PCI の有用性の検討 —入院時Brunnstrom recovery stageに着目して—

○菅野瑞紀、山下浩樹、関公輔

第40回東北理学療法学術大会 秋田県（WEB） 2022年9月10日～11日

9. 回復が遅延したギラン・バレー症候群患者に対する理学療法の経験（第2報）

○佐藤英雄、江口舞人、工藤寛智、佐藤義朝（診療部）

- 第 40 回東北理学療法学会 秋田県 (WEB) 2022 年 9 月 10 日～11 日
- 1 0. 新型コロナウイルスによるシルバーリハビリ体操指導者養成事業と体操教室への影響と取り組み
○青山祐、千葉柊兵、小志戸前奈那、渡部祐介、高橋真由美 (地域支援部)、佐藤英雄
大井清文 (診療部)
- 第 40 回東北理学療法学会 秋田県 (WEB) 2022 年 9 月 10 日～11 日
- 1 1. 胸椎 OPLL により歩行困難から術後杖なし歩行獲得した一症例-脊髄損傷者の予後予測を用いたケーススタディ-
○江口舞人、関公輔
- 第 40 回東北理学療法学会 秋田県 (WEB) 2022 年 9 月 10 日～11 日
- 1 2. コロナ禍における岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の活動報告-令和 2 年度と 3 年度における感染症の影響と対応-
○佐藤英雄、千葉柊兵、青山祐、小志戸前奈那、渡部祐介、高橋真由美 (地域支援部)、今野秀一 (地域支援部)、大井清文 (診療部)
- リハビリテーション・ケア合同研究大会 2022 苫小牧 北海道 2022 年 9 月 30 日～10 月 1 日
- 1 3. 当センターにおける脊髄梗塞患者の病態と予後についての後方視的調査
○佐久山希、江口舞人、関公輔、佐藤弘樹 (岩手県立中央病院)
- 第 20 回日本神経理学療法学会 兵庫県 (WEB) 2022 年 10 月 15 日～16 日
- 1 4. 脳卒中片麻痺患者における体幹機能の回復と歩行自立度の関連-Trunk Impairment Scale の変化に着目した一例-
○江口舞人、関公輔、加藤駿太郎、佐藤弘樹 (岩手県立中央病院)
宮田一弘 (茨城県立医療大学)、水上昌文 (茨城県立医療大学)
- 第 20 回日本神経理学療法学会 兵庫県 (WEB) 2022 年 10 月 15 日～16 日
- 1 5. 脊髄損傷を呈して介助歩行から杖なし歩行の獲得に至った一症例-心理面に配慮したアプローチに着目して-
○日影蒼依、関公輔、江口舞人、熊谷瑠里子 (診療部)
- 回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山 2023 年 2 月 24 日～25 日

《作業療法科》

- 1 6. ドライビングシミュレータを用いた自動車運転評価における作業療法士の観察視点-インタビューによる探索的研究-
○小笠原未久、石川隆志 (秋田大学大学院)、清水将 (岩手大学大学院)
第 56 回日本作業療法士学会 京都府 2022 年 9 月 17 日
- 1 7. いわてリハビリテーションセンターにて運転再開支援を受けた患者への追跡調査-前回調査との比較と考察-
○平彩花、吉田雄哉、小笠原未久、大久保訓、大井清文 (診療部)
第 56 回日本作業療法士学会 京都府 (WEB) 2022 年 9 月 17 日
- 1 8. 自動車運転再開支援を行った対象者への追跡調査-病前との違いに着目して-
○吉田雄哉、平彩花、小笠原未久、大久保訓
第 34 回岩手県作業療法士学会 岩手県 (WEB) 2022 年 12 月 3 日
- 1 9. いわてリハビリテーションセンターにおける自動車運転評価対応班の活動
○大久保訓、平彩花、小笠原未久、山本晶子
第 34 回岩手県作業療法士学会 岩手県 (WEB) 2022 年 12 月 3 日
- 2 0. 調理の再開を目指した介入の中で上肢機能が改善した症例
○稲田日向子、渡部祐介
第 34 回岩手県作業療法士学会 岩手県 (WEB) 2022 年 12 月 3 日
- 2 1. 当センターにおけるボツリヌス治療時の作業療法士の関わり
第 34 回岩手県作業療法士学会 岩手県 (WEB) 2022 年 12 月 3 日
○千葉聖矢、渡部祐介、佐藤義朝 (診療部)
- 2 2. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業の経緯と現状及び課題-シルリハ指導者と市町村、広域支援センター及びリハ専門職との連携-
○小志戸前奈那、千葉柊兵、青山祐、渡部祐介、佐藤英雄、高橋真由美 (地域支援部)
今野秀一 (地域支援部)、大井清文 (地域支援部)
令和 4 年度岩手県保健福祉環境行政セミナー 岩手県 2023 年 2 月 10 日

2 3. CI 療法時の、患者・多職種間連携と生活場面における麻痺手使用の現状と課題

○千葉聖矢、渡部祐介、佐藤義朝（診療部）

回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山 2023 年 2 月 24 日～25 日

《言語聴覚科》

2 4. ワレンベルグ症候群を呈した症例の摂食嚥下訓練の治療について

○水野亮太郎

岩手県言語聴覚療法士会 第 4 回学術集会・症例検討会 岩手県（WEB）2023 年 1 月 27 日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年 1 回実施している。

第 54 回院内研究発表会 2023 年 3 月 15～3 月 31 日 （オンデマンド配信）

1. 胸椎 OPLL により歩行困難から術後杖なし歩行獲得した一症例
- 脊髄損傷者の予後予測を用いたケーススタディ-
理学療法科○江口舞人
2. 調理の再開を目指した介入の中で上肢機能が改善した症例
作業療法科○稲田日向子
3. 経鼻胃管を留置し自宅退院した認知機能低下のある患者の食事支援について
看護部○一方井知美
4. 食器用チルトテーブルの使用による摂食動作改善効果（第 2 報）
診療部○佐藤義朝

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

- A データベースソフトの構築
- I データベース入力手順の取り決め及び運用
- U データベース入力（約 6118 症例）
- E 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

- A データ管理ならびに集積情報のまとめ
- I 集積データの分析ならびに研修会での提示

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

※COVID-19 の影響により、WEB 学会による情報収集を発表者・参加者により行う。

F 研究開発部センター内情報発信活動

- A 研究開発部マガジン（院内向け）No. 343～351 発行
- I これってな～に??（院内向け）No. 133～139 発行
院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。
 - ・ホームページの紹介
 - ・リハニュース 福祉機器の紹介
 - ・トピックス
 - ・学会、研修会情報
 - ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

- A 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成
- I 動画編集システムの管理、運営
- U 統計処理のアドバイス

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

- ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究
- イ モーターコントロール（運動制御）に関する基礎研究
- ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討
- エ CI療法に関する研究
- オ 嚥下障害に関する基礎研究
- カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究
- キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析
- ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測
- ケ 自動車運転シミュレーターを用いた自動車運転能力の研究

I その他

- ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力
- イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力
- ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究（リハビリテーション医学会）
- エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究
- オ データベース構築に関するシステム開発
- カ 日本神経外科学会データベース研究事業への調査協力
- キ 回復期リハビリテーション病棟協会調査への協力
- ク 日本リハビリテーション病院・施設協会調査への協力